

令和5年度教育課程研究集会

中学校 美術科

美術科における「指導と評価の一体化」を進める 授業改善

－「主体的に学習に取り組む態度」の学習評価の充実－

令和5年8月
奈良県立教育研究所
教職員研修係 平松 康明

中学校学習指導要領 美術科の目標

中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

中学校学習指導要領 美術科の目標

中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第1 目標

【知識及び技能】

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

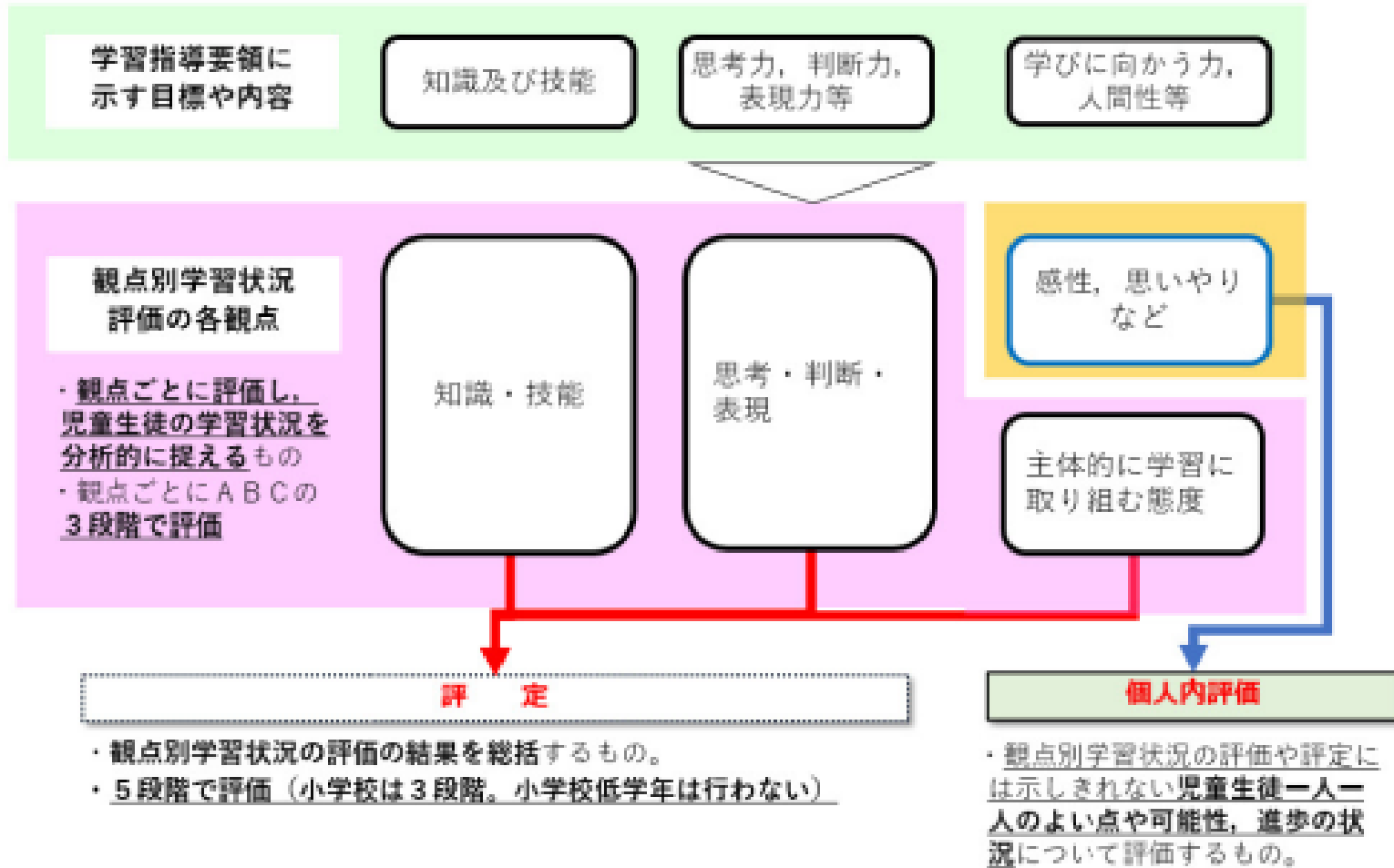
「学びに向かう力，人間性等」

- ① 「主体的に学習に取り組む態度」として観点別学習状況の評価を通じて見取ることができる部分
- ② 観点別学習状況の評価や評定にはなじまず、こうした評価では示しきれないことから個人内評価を通じて見取る部分
- ②については観点別学習状況の評価の対象外とする

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

各教科における評価の基本構造

- ・各教科における評価は、学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして学習状況を評価するもの（目標準拠評価）
- ・したがって、目標準拠評価は、集団内での相対的な位置付けを評価するいわゆる相対評価とは異なる。



「主体的に学習に取り組む態度」

① 「主体的に学習に取り組む態度」として観点別学習状況の評価を通じて見取ることができる部分

「主体的に学習に取り組む態度」の評価に際しては、単に継続的な行動や積極的な発言を行うなど、性格や行動面の傾向を評価するということではなく、各教科等の「主体的に学習に取り組む態度」に係る観点の趣旨に照らして、知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価することが重要である。

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

「主体的に学習に取り組む態度」

- 「粘り強い取組を行おうとする側面」
- 「自らの学習を調整しようとする側面」

「主体的に学習に取り組む態度」

美術科の学びに対して生徒がどのように向き合っているのかを見取ること

学習活動を通して、造形的な視点について理解しようとしたり、表現の学習活動において、心豊かな発想や構想を練ろうとしたり、主題を基に、創造的な技能を働かせようとしたりする姿、鑑賞の学習活動において、見方や感じ方を深める中で、自分にとっての意味や価値をつくりだそうとする姿などをしっかりと見取らなければならない。

「主体的に学習に取り組む態度」

この観点は、生徒が「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」を身に付けようとしたり、発揮しようとしたりすることへ向かう、主体的な美術への学習に対する態度を評価するものである。

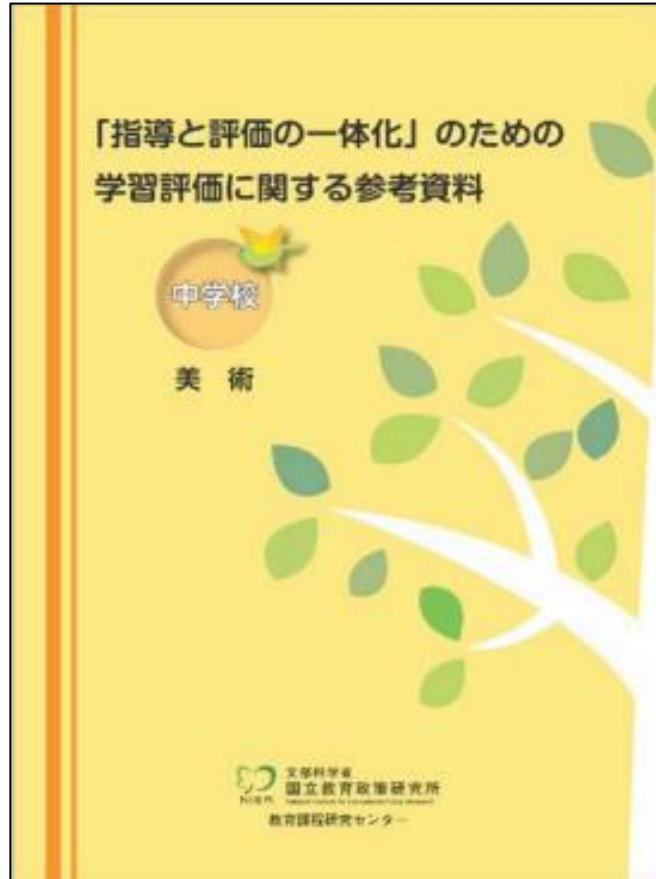
表現活動においては、机間指導等の際に試行錯誤を繰り返し粘り強く取り組んだり、よりよい表現を目指して構想や技能を、工夫改善したりしていく様子などの姿を捉えながら指導と評価を行うことが大切である。また、鑑賞活動においては、作品などを鑑賞し、造形的な視点を活用しながら造形的なよさや美しさを感じ取ろうとしたり、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えようとしたりするなどの意欲や態度等を評価を通して高めることが大切である。

「主体的に学習に取り組む態度」

「主体的に学習に取り組む態度」を評価できる授業づくり

- 生徒一人一人が題材を自分ごととして捉え、主体的に取り組めるような内容の授業
- 毎時間の学習活動のどこかに生徒が単に粘り強さだけでなく、自己決定を積み重ねて自己実現を図るなど、学習に関する自己調整を行いながら思考や判断、表現するよう場面がある授業

評価規準の作成



「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（中学校美術）

【中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術「第1 目標」】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)	(2)	(3)
対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

(中学校学習指導要領 P. 107)

【改善等通知 別紙4 図画工作・美術（1）評価の観点及びその趣旨】 <中学校 美術>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

(改善等通知 別紙4 P. 16)

「内容のまとめりごとの評価規準」(例)の作成

	<p>学びに向かう力, 人間性等</p>	<p>観点</p>	<p>主体的に学習に 取り組む態度※</p>		<p>主体的に学習に 取り組む態度</p>
<p>学習指導要領 2 内容</p>	<p>該当学年の目標(3)及び「知識及び技能」, 「思考力, 判断力, 表現力等」に該当する学習指導要領の内容を参考にす る。</p>	<p>趣旨</p>	<p>美術の創造活動の喜びを 味わい楽しく表現及び鑑 賞の学習活動に取り組も うとしている。</p>	<p>内容のまとめりごとの 評価規準例</p>	<p>・美術の創造活動の喜 びを味わい楽しく<u>感じ 取ったことや考えたこ となどを基にした</u>表現 の学習活動に取り組も うとしている。</p> <p>※学年別の観点の趣旨 (主体的に学習に取り 組む態度)及び「知識 及び技能」, 「思考 力, 判断力, 表現力 等」に該当する学習指 導要領の内容を基に作 成。</p>

※第1学年の評価の観点の趣旨を
例に解説

「主体的に学習に取り組む態度」

【改善等通知 別紙4 図画工作・美術（1）評価の観点及びその趣旨 <中学校 美術>】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ, 表現の意図と工夫, 美術の働きなどについて考えるとともに, 主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり, 美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

「花の命を感じて」の題材の評価規準

「知識・技能」	「思考・判断・表現」	「主体的に学習に取り組む態度」
<p>知 形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、<u>美しさや生命感などを全体のイメージで捉えることを理解している。</u></p> <p>技 <u>水彩絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。</u></p>	<p>発 <u>花を見つめ感じ取った花や葉の形や色彩の特徴や美しさ、生命感などを基に主題を生み出し、画面全体と花や葉との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</u></p> <p>鑑 <u>造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</u></p>	<p>態表 <u>美術の創造活動の喜びを味わい楽しく花の美しさや生命感などを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</u></p> <p>態鑑 <u>美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</u></p>

事例1：花の命を感じて



内容のまとめ

第1学年「感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現」及び「作品や美術文化などの鑑賞」

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（中学校美術）令和2年3月 P45

評価方法の工夫

評価方法は、的確に観点の趣旨の実現状況が見取れる方法を考えることが求められる

○学習活動の様子を観察が基本

○ワークシートの活用には、「学習に対してどのように向かっていこうとしたのか。」等の設問の工夫が大切